

発達支援.COM WEBセミナー2021年7月度

**バルンポリンで
効果を出すための
7つの基本**



発達障害臨床研究会(宇佐川研)代表
臨床発達心理士 植竹安彦

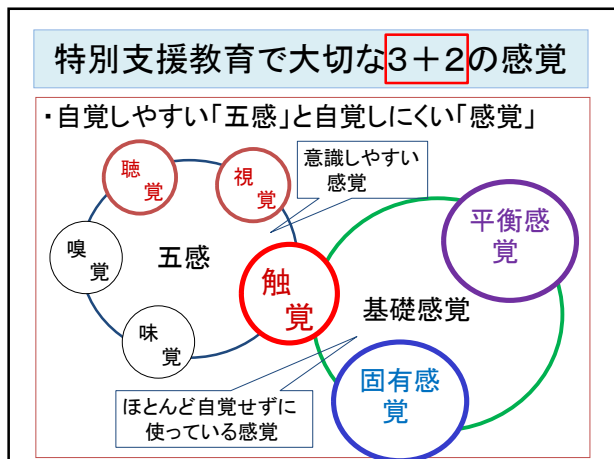
1

指導の難しさの背景

- ・いつも車いすをガタガタ揺らしている子
- ・バンバン机をたたく子
- ・目の近くでいつも手をヒラヒラさせている子
- ・ピョンピョン、グルグル落ち着きのない子
- ・お友達をすぐ叩いてしまう子
- ・偏食が激しい子
- ・手元を見続けられない子
- ・人の話を聞いていない子、、、etc

困難の背景に「感覚」のつまずきが

2



3

「子どもたちの力を引き出す」土台作り

**「認知」を高めるには
何の力が必要ですか？**

**「聞く力」・「見る力」
が必要です**

4

**「見る力」を高めるには
何が必要ですか？**

**「首の安定・姿勢の安定」
「目玉(眼球)の動き」**

5

**「姿勢」「眼球運動」の向上には
何感覚の働きが必要ですか？**

**「平衡感覚」等の
はたらきが必要です**

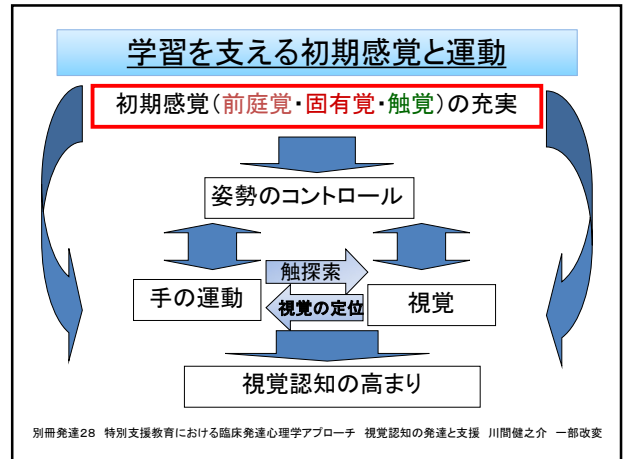
6

人の育ちには流れがある 目(眼球運動)を育てよう!

- ・認知を高めるには → 見る・見分ける力の向上
- ・見る力の向上には → 姿勢・眼球運動の向上
- ・姿勢・眼球運動の向上には → 前庭感覚(平衡感覚)を使った運動

だから「自立活動」が大切

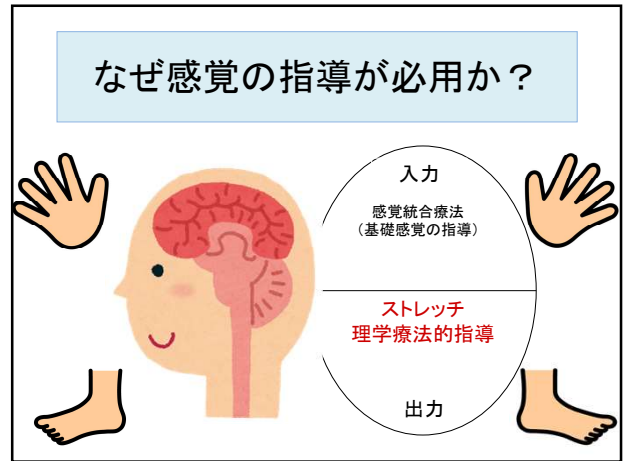
7



8

感覚について学ぼう

9



10

上手に運転するために

- ・もし、100キロ出ているのに、20キロだと感じて運転していたら?
- ・もし、20キロしかでないのに、100キロでいると感じて運転していたら?

11


刺激を受け入れるコップの大きさ

感覚が敏感 ← ----- → 感覚が鈍感

- コップが小さい。少ない情報であふれる
- コップの大きさに情報量が程よくおさまっている。
- コップが大きく、情報量が不足している。

12

基礎感覚を育てるとは



「耕された良い土」があつてこそ、はじめて授業での学びが高まる。

初期感覚を育てる指導
(自立活動)
= 育ちやすい土づくり

13

平衡感覚(前庭覚)



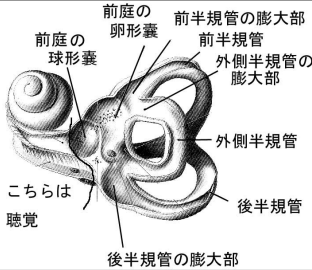


14

平衡感覚のしくみとはたらき

(前庭感覚)

- ・センサー:
「三半規管」
「耳石器(卵形のう、球形のう)」
- ・受け取る情報:
「回転加速度」
「直線加速度」
「重力加速度」



前庭の卵形嚢 前庭の球形嚢 前半規管の膨大部 前半規管 外側半規管の膨大部 外側半規管 後半規管 後半規管の膨大部

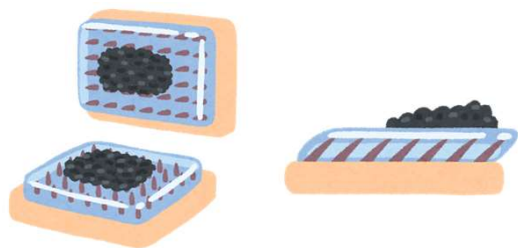
こちらは聴覚

日本人体解剖学・南山堂より・改変

姿勢(傾き)、移動スピードの情報

15

耳石



耳石に刺激が入ることで、全身の筋肉を伸展させようとする反応が生まれる。

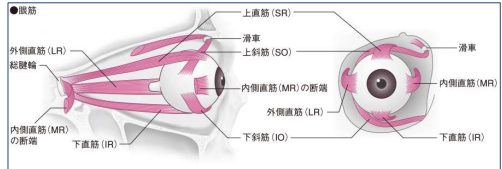
16

バランスに関わる「平衡感覚」

- ① 眼球運動の回路・・・前庭-動眼系
 - ・注視、追視 → 回転後眼振検査
(2秒1回転で10回転: 10秒位で消失)
- ② 姿勢調節の回路・・・前庭-脊髄系
 - ・「筋緊張」の調節 ※筋力と筋緊張の違い
- ③ 自律神経系の回路・・・前庭-自律神経系
 - ・「情緒、情動」、「覚醒レベル」の調節

17

「目の構造」と物を見る条件①



● 眼筋の作用

上直筋 (SR) superior rectus m.	下直筋 (IR) inferior rectus m.	外側直筋 (LR) lateral rectus m.	内側直筋 (MR) medial rectus m.	上斜筋 (SO) superior oblique m.	下斜筋 (IO) inferior oblique m.
作用: 上転、内転、内旋	作用: 下転、内転、外旋	作用: 外転	作用: 内転	作用: 下転、外転、内旋	作用: 上転、外転、外旋

m.=musculus

「看護roo!」<https://www.kango-roo.com/sn/k/view/1719> より引用

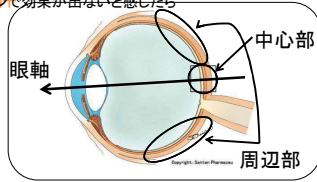
18

「目の構造」と物を見る条件

「中心視」…中心部の視細胞「色・輪郭・形」
 「周辺視」…周辺部の視細胞「明暗・物の動き」

「中心視」を使う際のポイントで効果が出ないと感じたら

- ① 見ることに對する知的な好奇心
- ② 眼軸を對象に 向ける(眼球運動)
- ③ 焦点を合わせる



19

バルンポリン7つの基本



20

バルンポリン7つの基本



- ① 安全管理
- ② 目標と評価(読み取り)
- ③ 子どもの姿勢
- ④ 大人の姿勢
- ⑤ 手の使い方
- ⑥ 揺らし方とコンプレッション
- ⑦ 楽しさの共有

21

①安全管理

- ① 器具の安全点検
 バルーンの空気、トランポリンのゴム・バネ
- ② 器具の置き場所
- ③ くつしたを脱ぐ
- ④ 周囲の安全
- ⑤ 乗せ方、降ろし方
- ⑥ 基礎疾患の確認
- ⑦ ボールの置き方

22

②目標と評価(読み取り)

- ① どんな機能を改善したいのか?
- ② 触覚防衛の有無
- ③ 重力不安の有無
- ④ 筋緊張の状態
- ⑤ 姿勢の反応性(立ち直り反応など)
- ⑥ 手の中への反応
- ⑦

23

③子どもの姿勢

- ① ボールに乗る位置
- ② 腰の角度
- ③ 足の付き方
- ④
- ⑤
- ⑥
- ⑦

24



④大人の姿勢

- ①ボールを足ではさむ
- ②腰と背中を伸ばす
- ③垂直に揺らせるポジション
- ④靴下をぬぐ。すべり止め。
- ⑤
- ⑥
- ⑦

25



⑤手の使い方

- ①指先ではなく、手のひらで
- ②胸をそらす(烏口突起に小指)
- ③挫骨で支持する(そけい部の介助)
- ④鎖骨を意識し、大胸筋で押す
- ⑤挫骨の支持
- ⑥常に身体に触れ、センサーとする
- ⑦背中への支持
- ⑧触覚防衛の子の触れ方

26



⑥揺らし方とコンプレッション

- ①相手とねらいに合わせて揺らす
- ②覚醒を高める揺らし方(高さ)
- ③コア(体幹)を入れる揺らし方(コンプレッション)
- ④垂直に揺らす
- ⑤膝の介助とかかとの付き方
- ⑥
- ⑦

27



⑦楽しさの共有

- ①良くなったことを伝える
- ②楽しかったことを伝える
- ③ハイタッチなど、^{⑦楽しさの共有}共有した時間を確認
- ④感謝を伝える
- ⑤頑張りを認める
- ⑥ダメ出しをしない
- ⑦

28



まとめ

- ①バルンポリンは手段であり目標ではない
- ②お子さんの内面を重視する
- ③バルンポリンの先に支援がある
- ④大人も跳んでみる
- ⑤ねらいに応じて跳び方をつくる
- ⑥楽しいことが基本
- ⑦

29

実践する上で
大切にしたい視点

なぜ、この子は〇〇するのか？と

常に「なぜ？」の視点を

「なぜ？」の積み重ねが
深い子ども理解に

30